

# さいたま市立病院だより えがお

Vol.41

## 当院のがん医療について

当院は、地域がん診療連携拠点病院として指定されており、専門的ながん医療の提供、がん診療の地域連携協力体制の構築、がん患者さん・ご家族に対する相談支援及び情報提供等を行っています。

### Topics

1. ロボット支援手術を導入しています
2. サイバーナイフによるがん治療について
3. 相談支援・情報提供



## 1. ロボット支援手術を導入しています

最先端の手術方法であるロボット支援手術を導入して、約1年が経過します。現在、当院では前立腺がん・腎臓がん・肺がんの3つのがんの手術と熟年のご婦人のお悩みとなる骨盤臓器脱（膣から膀胱・子宮・直腸が脱出する病気です）の手術を行っています。

### ロボット支援手術とは？

ロボット支援手術といっても全てロボットが手術を行うわけではありません。開腹の手術と同じ内容を小さな

傷で、まさに目の前でロボットの支援を受けて行うという手術です。医師はロボットのアームについている鉗子やカメラを遠隔操作して手術を行います。5 cmにも満たない鉗子は人間の手と同じような関節を持ち、執刀する医師自らの手と同じように操作することができます。

また、体に挿入するカメラは、従来の映像とは違い、高解像度の3次元映像を表示することができます。患部を拡大し立体視することができ、より精密な手術が可能となります。

《ダビンチは3つの機器によって構成されています》

①  
ペイ  
シエ  
ント  
カー  
ト



②  
ビ  
ジ  
ョ  
ン  
カー  
ト



③  
サー  
ジ  
ョ  
ン  
コン  
ソ  
ール



① ペイシエントカート

ロボットアームが手の動きを忠実に再現します。

② ビジョンカート

手術中の画像が映し出されます。

③ サージョンコンソール

執刀医が座り、手元のコントローラーを操作します。

🌸 **ロボット支援手術の特徴**

ロボット支援手術は患者さんにも、執刀医にも「やさしい」ことが特徴です。

患者さんに「やさしい」とは傷口が小さいため、体への負担が少なく術後の回復が早いということです。多く

の患者さんは手術の翌日から歩くことができます。

また、執刀医に「やさしい」とは、今までの手術では1つの手術をマスターするのに時間を要していましたが、ロボット支援手術では、技術取得時間の短縮が期待できると言われております。

🌸 **ロボット支援手術の将来**

全ての手術においてロボット支援が可能ではないかのご意見もあると思いますが、現在のロボット支援手術の機器は肺・骨盤内臓器のように体の中で固定されている臓器との相性が良いようです。今後の展望としましては、各科の特性に合わせて、整形外科対応や脳神経外科対応と言ったように違うタイプのロボット支援が開発されていくと考えております。テクノロジーが進歩して、将来人間の医師が診断や、手術を行う場はどんどん縮小

するかもしれません。やがて、自分の体を全てロボットに委ねる時代がやってくるかもしれません。しかし、ロボットがいくら進歩しても、患者さんに寄り添うことこそ、医師が本来果たさなければならぬことであり、それは人間の医師だけができると考えております。



副院長兼泌尿器科部長 増田 毅

## 2. サイバーナイフによるがん治療について

新病院の開院に伴い、当院にがん治療の医療機器として2台の新しい放射線治療装置を設置しました。今回はそのうちの1台、「サイバーナイフ」をご紹介します。

この装置は、いわゆる「ピンポイント照射」に特化しています。正式には「定位放射線治療」といわれ、病巣に対して少ない回数で大きな放射線量を照射します。放射線治療では、同じ量の放射線なら、より少ない回数に分けて照射すると、より強い効果をもたらします。従来型の放射線治療装置でもこの治療は可能でしたが、専用装置となってよりスムーズかつ安全に治療ができるようになりました。この装置の導入により、従来は手術に頼っていたがんを放射線治療のみで治癒させることや、転移してしまった病変を抑えてその暴走を食い止めるなど、かつての放射線治療では難しかった治療を実現することができます。

この装置は写真のように、自由に動く「頭」の部分、回転台に据えられた「腕」のような支えの先に付いています。この頭はさまざまな位置に角度を変えること

ができるので、その頭の方から出るエックス線のビームが絶えず病巣を狙い、幾条もの放射線を病巣に浴びせかけることができます。

この装置の特色は、体内での臓器の動きを追跡して照射できる点にあります。照射中も患者さんは呼吸をしており、そのため肺や肝臓などの臓器も体内で周期的に動いています。これに連動し、病巣も動き回ってしまいます。また、前立腺のように周辺の臓器の状態に影響され、容易に位置を変えてしまう臓器もあります。その動きを、体外からエックス線や赤外線カメラで監視することにより、移動する病変を追いかけて放射線を照射できるようになりました。従来は、ある程度の誤差を見込んで照射していましたが、サイバーナイフではより正確に放射線を病巣に照射できるようになりました。

がんと診断された方で、サイバーナイフなどの放射線治療に興味を持たれた方は、まずは主治医にご相談ください。

放射線治療科 部長 川瀬 貴嗣



放射線治療スタッフとサイバーナイフ

### 3. 相談支援・情報提供

#### がん相談支援センター

がん相談支援センターは、がん患者さんやご家族の方の支援を行うために開設しています。がんのことや検査、治療、療養に関することなど疑問や心配なことがありましたらご相談ください。疑問や不安なことが少しでも解消できるようにお話を伺い、一緒に考えていきます。がんと診断された時から不安に思うことがありましたらがん相談支援センターを活用してください。

**相談時間** 平日 8:30～17:00

**相談方法** 電話または面談 ※面談は予約制になります。

**場 所** 1階 患者支援センター

**相談料** 無料

**お問い合わせ・予約** 048-873-4111 (代)  
※がん相談とお伝えください。



#### がん患者さんのためのお仕事相談

「治療は必要だけど、働きたい」、「職場に病気のことをどうやって伝えよう」、「自分の病状にあった仕事をみつきたい」、「いま利用できる制度は?」、「お金が心配」などの、仕事やお金に関する悩みにお答えするために相談会を行っています。

**開催日** 毎月第3水曜日 ※一週間前までに予約が必要です。

**時 間** ◎ 13:20～14:04 (13:10 受付) ◎ 14:20～15:05 (14:10 受付)  
※◎・◎ともに社会保険労務士、ハローワーク大宮いずれかとの相談です。

**対象者** さいたま市立病院に受診されているがん患者さん、ご家族

**場 所** 1階 患者支援センター

**相談料** 無料

**お問い合わせ・予約** 048-873-4111 (代)



#### がん情報コーナー

2階の図書コーナーにがんに関する情報があります。持ち帰ることのできるリーフレットやパンフレットなどもありますのでぜひご利用ください。



#### 新任医師のご紹介



循環器内科 勝木 俊臣

久々の地域医療機関勤務で緊張しています。よろしくお願ひします。

座右の銘

天は自ら助くる者を助く

発行 : さいたま市立病院  
 発行者 : 院長 堀之内 宏久  
 住所 : さいたま市緑区大字三室2460  
 電話 : 048-873-4111  
 ホームページ : <https://www.city.saitama.jp/hospital/index.html>



さいたま市立病院  
ホームページ

※この印刷物は1,200部制作し、1部あたりの印刷経費は60.5円です。